



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 第3学年(45人) 地域学習「いい旅・夢気分・おいでんせえ政田へ」

四つ手網体験を単元の入り口に、政田には自慢できる所がたくさんあることに目を向けた。そして、「スタインベルクピアノ」「新田小唄」「ファジアーノ政田練習場」「政田民俗資料館」「政田の歴史」「政田の美しい景色」などのテーマを決め、調べ学習を行った。インターネットや図書資料での調べ学習のほかに、見学や体験、インタビュー、アンケートを通して情報を集めた。そして、自分たちが調べた政田の自慢をたくさんの人に知ってもらうために、政田の自慢をパンフレットにまとめて発信した。新田小唄を後輩にも伝えていきたいと、3年生みんなが新田小唄を練習しCDを制作した。

#### 第4学年(36人) 福祉学習「みんながくらしやすい政田をつくろう」

点字体験・盲導犬体験などを通して、体の不自由な人の暮らしに目を向けた。そして、学区の様子や体の不自由な人たちが使う「点字」「手話」「盲導犬」「聴導犬」「車いす」「白杖」について調べ、自分たちが生活している政田が「みんながくらしやすい町」になっているのかを考えた。政田の町をより「みんながくらしやすい町」にしていくために、「学校に車いすを置くためにアルミ缶集めを呼びかける」「盲導犬と関わる際に気をつけることをポスターにまとめる」など、自分たちができる行動を考え実践した。

#### 第5学年(39人) 環境学習「政田の米づくりと水環境を守ろう」

田んぼでの作業は、ほとんどの児童にとって初めてのことで、米づくりの一連の活動を直接体験することを通して、米作りの大変さや喜びなどに気づくことができた。そして、米づくりに欠かせない身近な水環境について見直し、それらを守っていくためには何が必要なのかを考え、自分たちにできることを考えた。

田園風景は身近であっても、実際の作業を体験したことがある児童は少なく、この体験活動は米作りを考える上で欠かせないものである。また、地域の方々の協力なくしては成り立たない活動で、年間を通して有志の方々にお世話になりながら、田植え・青田刈り・稲刈り・おかざり作りなどの体験を進めた。さらに、調べ学習、身近な水辺の生きもの調査、水質検査を通して水の大切さにも気づき、水環境を守りたいという思いをもった。そして、少しでも生活排水をきれいにするための取組として、アクリルたわしを制作し、家庭や地域の方に呼びかけていく活動に広げていった。

#### 第6学年(36人) 国際理解学習「世界の子どもたちに政田からできることを取り組もう」

「世界がもし100人の村だったら」の本を入口にして、世界の現状を調べた。児童たちは本の内容から特に印象に残った「紛争地域での問題」「食糧不足の問題」「水衛生の問題」などについて、インターネットや図書資料を活用して調べる活動を行った。また、さらに詳しく現状を知るために、ハート・オブ・ゴールドから講師を招き、カンボジアの様子やハート・オブ・ゴールドの支援活動などについて話を聞いた。より具体的な現状を知った児童は、「何かしたい」という思いをもち、ハート・オブ・ゴールドの支援活動に協力することにし、校内の児童や家庭に呼びかけ、カンボジアの子ども達のために支援物資(タオル・歯ブラシ・鉛筆・石鹸など)を送る活動に取り組んだ。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）